

那賀高等学校

実施日時	平成30年 10月 31日(水)
参加者	生徒313名(1年生)、教職員20名、地域小学生64名及び引率教員3名 計400名
実施内容	高校生防災講座、救命救急講習、起震車体験、 α 米炊飯実習

事前の取組

本校生徒は、総合的な学習の時間において、防災学習を通じて『那賀高校防災スクール』の準備を行ってきた。防災学習第1回目は片田敏孝教授の映像を鑑賞し防災について学習した。第2回～第4回は防災の様々なテーマについて調べる学習を行い、その成果をレポートにまとめた。第5回～第9回は準備した資料を元にプレゼンテーションを作成し発表を行った。第10回は防災スクールに向けて最終の事前準備をし、10月31日『那賀高校防災スクール』を迎えた。

主なプログラム

時間	内容
10:45	α 米炊飯実習 (各クラス代表4名×8クラス =32名で実習 第1学年313名分を配膳) 
11:45	防災講座の為の教室準備
12:15	(昼食休憩) ※第1学年全員 α 米の試食 ※起震車体験(高校生希望者対象)
13:30	開講式 ・教頭挨拶 ・高校生代表挨拶 ・小学生代表挨拶

13:40



高校生防災講座及び救命救急講習
【高校生防災講座】

- ・ 高校生が講師となり地域の小学生を招いて防災講座を開いた。
- ・ 各クラス3講座実施(1講座25分)
- ・ 講座内容は各クラスで設定したテーマに沿った内容で、小学生が参加体験できるようなプログラムを組み込んで構成した。
- ・ 小学生は高校生の誘導のもと、各講座を順に受講した。



<各クラスの防災テーマ>

- A組 災害から大切な人を守る手段
- B組 手作り防災グッズ
- C組 南海トラフ地震に備える
- D組 和歌山県で身近な自然災害
- E組 地震に備える
- F組 家の中の防災
- G組 災害の歴史と備え
- H組 避難所での生活について

	<p>【救命救急講習】 那賀消防組合の協力のもと人形を用いた心肺蘇生法の実習、AEDの使用方法の実習を行った。 (各クラス代表8~10名×8クラス=74名 で実習)</p>  <p>【起震車体験】 那賀消防組合の協力のもと、起震車による地震での揺れの体験を行った。(小学生対象)</p>  <p>閉講式 ・教頭挨拶 ・高校生代表挨拶 ・小学生代表挨拶</p>
--	--

【救命救急講習】

救命救急講習を受けたのは初めてでしたが、消防の方たちが丁寧に教えてくれたのでとても分かりやすかったです。

AEDや心肺蘇生の方法などを実際に体験することで、救命救急の場面に遭遇してもあわてずに実践できるとおもいました。

成果と課題

小学生向けの防災講座という発表の場を設けることで、単に調べる学習にとどまらず、プレゼンテーションの経験等の多くの学習効果が得られた。

α米炊飯実習・救命救急講習とも実践的で、実際の役に立つ内容だった。

参加者感想文

【α米炊飯実習】

お湯を入れるだけでできたのですごく簡単だった。いろいろな味があっておいしかった。非常食はあまりおいしいものではないと思っていたが、そんなこともないと感じた。

男子4人でも簡単に作る事ができた。味の調整も不要で、災害時に役立つだろうと思った。

【高校生防災講座】

自分たちで防災について調べ発表することで、今まで知らなかったことを知ることができた。また、そこで知ったことを小学生に教えることで、防災意識を広めることができてよかった。